

事業概要【秋田版スマート農業モデル創出事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県、大仙市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,627,247千円 (155,876千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的（効果）	<p>・デジタル技術を活用した農業構造の変革（DX）により、農業の成長産業化を図るとともに、スマート農業を切り口とした農業従事者の営農継続や、若者・女性の農業への参入により、地域コミュニティの維持・活性化を図る</p> <p>・農業分野における先端技術の研究や普及により、新たなマーケットを創出し、製造業や情報通信業等のスマート農業に関連する産業の振興を図る</p>			
事業概要・ 主な経費	<p>「儲かる農業」を目指す「秋田版スマート農業モデル」の創出に向けた研究や人材育成等に取り組む</p> <p>【秋田県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザーボードの開催等経費（報償費等） 404千円 ○広報経費（委託料等） 1,489千円 ○秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金（補助金） 150,083千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムの運営 9,681千円 ・研究（7テーマ）の実施 125,194千円 ・実践的スマート農業教育の実施 12,810千円 ・スマート農業普及に向けた農場体験等の実施 2,398千円 <p>【大仙市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究（2テーマ）の実施に要する経費（使用料等） 3,900千円 			
KPI	<p>①米の10aあたりの労働時間削減率（+15.72%）</p> <p>②スマート農業指導士の活動によりスマート農業を体験・実践した農家の件数（+230件）</p>		関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【デジタルマーケティングを活用した戦略的プロモーション事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	269,289千円 (84,871千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施策に活用できるデータマネジメントプラットフォームを構築するとともに、地域自らが、そのデータを活用して分析を行うことができるよう、有効活用に向けた支援を行う。 ・インターネット広告、SNS広告などデジタルプロモーションを活用し、国内外の旅行スタイルの変化や市場特性も踏まえて、ターゲットに応じた戦略的なプロモーションやイベント等を通じた情報発信・誘客推進を行う。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○データ分析の共通基盤となる「秋田県観光DMP」の運用を行うとともに、現状分析や効果検証の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMP保守管理等経費（委託費）10,617千円 <p>○秋田県公式観光サイト「アキタファン」へ誘導するWEB広告、効果分析を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルプロモーション及び効果分析（委託費）7,840千円 <p>○東北・新潟エリアにおける広域観光マーケティングデータを活用し、東北全体の観光動態を分析し、広域的なプロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携によるマーケティングデータ活用（委託費）6,500千円 ・東北・新潟広域連携プロモーション（委託費）8,950千円 <p>○訪日客のFIT（個人旅行者）の増加が見込まれることから、市場特性に応じて、訪日旅行検討層に親和性の高い媒体やイベント等を通じた情報発信を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国・韓国・豪州・タイ向け情報発信（委託費）19,208千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①秋田県における延べ宿泊者数（+1,560千人） ②秋田県における観光消費額単価（+6,349円） ③秋田県観光公式サイト「アキタファン」へのアクセス数（+156千件）	関連URL	https://akita-fun.jp https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540



事業概要【デジタル人材確保・育成事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	77,942千円（26,834千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代デジタル人材の育成 ・次世代デジタル人材の確保 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生等向け次世代デジタル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・企業と学生との接点づくり支援（委託料）11,000千円 ○中高生向け次世代デジタル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けプログラミング等研修（委託料）3,868千円 ○デジタル技術に関する興味関心を高める取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術の体験型イベント（委託料）11,966千円 		 <p>中高生向けプログラミング等研修</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内ICT企業の新規雇用者数（+14人） ②県内企業の経営課題等（生産性向上・事務効率化）に対するICT利活用の割合（+9%） ③デジタル技術体験型イベントの来場者数（+6,600人） 		関連URL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540

事業概要【秋田スタートアップエコシステム推進事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,086千円 (46,633千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップエコシステムの形成を推進する地域プラットフォームを構築し、スタートアップ支援体制を整備する。 ・相談窓口の整備や地域プラットフォームの伴走支援により、県内外スタートアップの成長を促進する。 ・県内からスタートアップ候補の発掘や、情報発信強化により、スタートアップへの挑戦意欲を醸成する。 ・ロールモデルとなる首都圏等のスタートアップ等を誘致する。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域プラットフォームの構築・運営 ・各種支援プログラムの運営等（委託料）29,917千円 ・県内スタートアップ成長支援（補助金）3,000千円 ・県外スタートアップの実証支援（補助金）5,000千円 ○県内スタートアップの発掘・成長支援 ・機運醸成イベントの開催等（補助金）2,081千円 ・候補企業のメンタリング、交流支援（委託料）1,310千円 ○ポータルサイトによる情報発信（委託料）344千円 ○ビジネス環境を活用したスタートアップ等の誘致 ・県内企業との協業促進支援等（委託料）4,981千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①開業率の向上（+0.3ポイント） ②オンラインコミュニティ参加人数（+250人） ③投資獲得企業数（+3件） ④スタートアップ等の誘致件数（+9件） 		関連URL https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540	

事業概要【デジタル技術活用による食品産業振興加速化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	178,294千円 (65,847千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> 県内食品事業者の所得向上が図られることで魅力的な雇用の場が創出され、食品産業を起点に地域経済全体が発展し、本県における県政運営の基本指針「新秋田元気創造プラン」の最重要課題である「人口減少問題の克服」に寄与する将来像を目指すこと 		
事業概要・ 主な経費	<p>○スタッフによる県内食品事業者及び商品に関する情報収集及び県内食品事業者、食品バイヤー及び消費者の情報を一元化するデータベースを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> データベース構築（委託料）4,884千円 スタッフ配置（人件費）5,271千円 <p>○データベースを活用した情報発信やマッチング等を行うために食品バイヤーや消費者ニーズに関する情報収集などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報収集のための展示会等出展（委託費）12,820千円 <p>○デジタル技術を活用した経営規模拡大や生産性向上を目指す事業者に対して、賃金水準及び企業価値の向上等に資する取組経費を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者支援（補助金）40,000千円 		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①県内食料品製造業における新規雇用者数（+18人） ②データベースに登録した食品事業者数（+230件） ③デジタルを活用した生産性向上や事業規模拡大に繋がる事業者間連携数（+4件） 		<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>
関連URL	<p>https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540</p>		



事業概要【県内情報関連産業の競争力強化によるDX推進事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	189,736千円（58,976千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業への伴走支援と優良事例の横展開による県内産業のDX推進 ・DX推進に伴うデジタル需要の増大と県内ICT企業の競争力強化 ・県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業のデジタル化からDXに向けた取組の支援 ・各種講習（謝金等）2,527千円 ○県内ICT企業を中核とした地域密着型コミュニティによる伴走支援と優良事例の横展開 ・伴走支援業務等（委託料等）22,049千円 ○県内ICT企業の競争力強化の支援 ・事業拡大に要する経費の補助（補助金）26,500千円 ○県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発支援 ・行政とのマッチング支援等（委託料）7,900千円 	 <p>県内企業への伴走支援</p>  <p>秋田県立美術館のメタバース</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+250人） ②県内企業の経営課題等に対するICT利活用の割合（+10%） ③県内ICT企業における自社商品開発件数（+11件） ④体験型交流イベントの参加団体数（+60団体） 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540</p>

事業概要【めだせ港の魅力向上！世界に選ばれる港づくり推進事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	883,092千円 (312,100千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船寄港の増加に伴って急増する外国人旅行者に対応するため、受入態勢を強化するとともに、付加価値の高い観光コンテンツを造成し、広く、県内にクルーズ船寄港による効果を波及させる。 港湾における脱炭素化の取組を推進し、実施体制を構築するとともに、長期的な取組の継続を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○港周辺の付加価値の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・受入人材の育成（5,645千円） ・観光コンテンツの付加価値等（245,659千円） ・港の情報発信（17,833千円） ○港の脱炭素化の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設の調査・研究等（32,781千円） ・モーダルシフトの促進等（8,100千円） ・エネルギー関連産業人材育成（2,082千円） 					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>あきたクルーズ振興協議会の構成員である商工団体を通して商店街等へ情報提供を行うほか、意見を取り入れ受入態勢を強化する。 港湾の脱炭素化を進めるに当たり、定期的に意見交換を実施し、学術的見地からの助言を計画に反映する。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+24,000百万円） ②クルーズ船寄港回数（+9回） ③カーボンニュートラル取組数（+6事業） ④能代港の洋上風力視察受入人数（+72人） ⑤フェリー・貨物輸送量（+3,000台）

事業概要【若年女性が秋田で働き暮らす環境づくり促進事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,059千円 (12,141千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生目線の秋田での暮らし・働く魅力の情報発信により、若年女性の県内定着・回帰を目指す。 ・若年女性等が、躊躇せず秋田県で働き暮らせるよう、県内企業の女性活躍推進に関する意識醸成や環境づくりによる取組の高度化及び地域におけるジェンダーギャップ解消やコミュニティ強化を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年女性が秋田で働き暮らす社会づくり ・秋田での暮らし・働く魅力の発信（委託料）4,417千円 ・経営者等の理解促進のための支援（委託料）6,381千円 ○地域コミュニティを支える人材確保 ・担い手発掘のための大学生との交流会（委託料）274千円 					 <p>県内企業の 女性の活躍推進に向けた 取組紹介</p> <p>➤ あきた女性の活躍応援ネットへの記事掲載</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内への若年者等の定着・回帰のため、県内企業の経営者層や女性従業員に対する意識醸成や理解促進のほか、県全体の寛容性の低さを解消するための広報啓発等を行い、秋田で働き暮らすことができる環境整備を進める。</p> <p>商工団体、民間企業においては、若年女性等が求める魅力的な企業づくりを進めるための具体的な取組について認識、実行し、採用活動の拡大を図る。県内外大学生には秋田県での働き方やライフスタイルなどを取材してもらい、独自の視点により秋田での暮らし・働く魅力を発信する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①UIターン数（+100人） ②県内大学生等の県内就職率（+6%） ③支援を通じて「えるぼし」または「くるみん」の認定を受けた企業数（+24社） ④10～20代までの若者が差別的な言動を受けたと感じた者の割合（-3%） ⑤社会活動・地域活動について取り組んだことがあると回答した若者世代（18～39歳）の割合（+4.5%） 	

事業概要【観光産業の持続的発展に向けた繁閑差平準化事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	502,789千円 (134,336千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 冬季やグリーンシーズンといった観光閑散期における誘客を拡大させ、観光事業者の収益改善・経営安定化を図る。 • 観光消費単価の高い外国人観光客数を増加をととして、観光事業者の収益を改善する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光閑散期誘客促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルプロモーション(委託費)14,883千円 ○ 食を活用した宿泊プラン販売促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊プランの磨き上げ等(委託費)6,349千円 ○ 観光コンテンツ高付加価値化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツ造成に向けた伴走支援(委託費)15,847千円 ○ 台湾旅行会社等と連携したPR <ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾チャーター便運航継続に向けたPR(委託費)64,533千円 ○ 食と観光を中心としたプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行博やトップセールスなどのプロモーション(委託費)22,045千円 ○ 冬季誘客に向けた台湾旅行会社セールスやSNS情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用した情報発信(委託費)5,599千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>県内のDMOや観光協会がコンテンツの利用状況や観光客の反応を分析し、事業へ反映させる。県内各市町村の観光部署においては、観光事業者からの要望等を集約し、支援や調整を行う。 地元メディアや調査事業者が事業の情報を展開するとともに、地域経済への影響などを分析し、事業の改善を目指す。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域における観光消費額 (+240億円) ② 閑散期の入込客数 (+420万人) ③ 台湾人宿泊者数 (+17,245人) ④ 台湾向けSNSアカウントフォロワー数 (+10,800人)

事業概要【県産食品海外販路開拓事業】

申請者	秋田県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	158,316千円 (52,772千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物・加工品・日本酒といった秋田の食を官民一体で海外に売り込むことで、農業産出額・農畜産物輸出額・加工品輸出額を増加させる。 ・複数の加工品の輸出グループや、農畜産物輸出に向けた全県域協議会等が組織され、事業者が自立的に海外販路拡大に取り組める輸出環境を整備する。 ・輸出機運の拡大により、新規に輸出に取り組む生産者や事業者を増やすことで、食品産業の裾野を拡大させる。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台湾での加工品販路拡大事業（委託費）6,334千円 ○韓国での加工品販路拡大事業（委託費）1,080千円 ○中国越境ECモールへの出展（委託費）3,000千円 ○輸出環境の整備（委託費）16,720千円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本酒輸出拡大のためのプラットフォームづくり ・地域クラスター形成、地域GI取得に向けた取組支援 ・酒蔵文化の発信や現地体験等を通じた食のブランディング ・輸出商材デジタルカタログの整備と海外バイヤーへの発信 ・新規輸出商材の掘り起こし・磨き上げによる市場化支援 ○台湾・タイでの農産物輸出拡大事業（委託費）7,762千円 ○シンガポール農産物輸出拡大事業（委託費）6,000千円 ○タイ向け秋田牛輸出量の拡大対策（委託費）2,550千円 				<p>4年目以降</p> <p>事業者が自主財源により輸出拡大</p> <p>輸出グループ 輸出クラスター 全県農畜産物輸出推進組織</p> <p>3年目</p> <p>2年目</p> <p>1年目</p> <p>加工品 農畜産物</p> <p>輸出商材デジタルカタログの整備</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>加工品の輸出に意欲的な事業者がクラスター等を形成し、連携して輸出に取り組むことで、新規市場の開拓及び輸出コストの低減を図る。</p> <p>ジェトロ海外事務所の支援により、香港・シンガポール等の新規市場での商品見本市への出展やバイヤー招聘を実施する。</p> <p>台湾・タイに県内企業が設立した地域商社を通じて現地での一般消費者向けに日本酒や秋田牛のプロモーションを実施する。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①農業産出額（+103億円） ②農畜産物輸出額（+165百万円） ③加工品の輸出額（+251百万円） ④市場化した新規輸出向け商品数（+5件）

事業概要【秋田米シェア拡大対策事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	77,338千円 (9,190千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・県産米のシェア拡大に向け、新たな需要を獲得するための取組と既存の需要を取りこぼさないための取組により秋田米の需要を拡大するとともに、センシング技術を活用した新たな生育診断技術による安定生産技術の確立を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秋田米需要獲得支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の米集出荷団体が行う販売促進活動に対する支援（補助金）8,000千円 ○新たな生育診断技術検証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・NDVI（植生指数）を用いた水稻の生育状況の把握・検討 ・現地ほ場の生育調査データでの適合性の検証（備品購入費、需用費）1,190千円 						
地域の多様な 主体の参画	産・官・学の分野から構成される秋田米生産・販売戦略推進会議等において意見集約を行うことにより、施策内容に反映しながら事業を推進していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①農業産出額（+103億円） ②全国の米の需要量に占めるシェア（+0.55ポイント） ③輸出用米の作付面積（+46ha）

事業概要【比内地鶏生産販売強化事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	6,750千円 (2,250千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 変化する販売流通の課題に対応するため、県内事業者が行う新たな販売促進の取組を支援し、秋田が誇る特産品である比内地鶏ブランドの維持・強化を図る。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 比内地鶏の販売において現在課題とされている、①流通（リードタイムが伸びる）については消費期限等延長の取組、②アニマルウェルフェアの高まりについてはオス肉活用、③産地の良さが伝わっていないことについては産地招聘、④飲食向け等需要拡大への対応については新商品開発でそれぞれ対応し、その解決を図っていく。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○新たな販売促進（消費期限延長、オス肉活用、産地招聘、新商品開発）への支援（補助金）2,250千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>比内地鶏販売事業者は、本事業を活用し、新たな販売促進に取り組み、実需者のニーズを捉えながら効果的な手法への見直しを進める。県は、生産から流通・販売までの各段階の情報収集に努めながら事業の円滑な遂行に努める。</p> <p>産地の消費者の会は、比内地鶏の振興方策全般について消費者サイドの見地からアドバイスを行う。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①比内地鶏の年間出荷額（+106,650千円） ②新商品開発件数（+3件） ③比内地鶏取扱店登録店舗数（+15店）

事業概要【“新しい林業”チャレンジ経営体応援事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	141,000千円 (47,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・林業における働き方改革や就労環境の改善に向けた林業経営者の意識啓発～モデル経営体の育成。 ・インターネットや各広報媒体をフル活用した、モデル経営体の取組をメインとした“新しい林業”の“見える化推進”。 ・デジタル技術の活用により、森林資源や路網状況をデータ化し、森林整備管理システムを構築。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要、経費】</p> <p>○モデル経営体を実施する多様な働き方や就労環境の改善に向けた取組に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組メニューの実施（補助金）20,000千円 <p>○WEBや各公報媒体を活用した“新しい林業”の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“あきた林業ナビ”ポータルサイトの開設（補助金）3,500千円 ・“マチナカ”で林業の魅力創出（補助金）2,500千円 <p>○デジタル技術を活用した森林資源や路網状況のDX推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空レーザ計測による林内路網のDX化（委託）6,900千円 ・森林資源（林業適地等）のゾーニング（委託）8,600千円 ・木材生産経費算出システムの構築（委託）5,500千円 					<p>モデル経営体 (チャレンジプラン効果)</p> <p>林業の魅力発信 (見える化推進)</p> <p>DX推進 (スマート林業)</p> <p>働き方改革 就労環境の改善</p> <p>女性・若者が選ぶ “新しい林業”</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>業界団体と連携し、林業従事者の多様な働き方や就労環境の改善に向けた取組の実施により、林業経営体を中心に県全体で“新しい林業”を推進しようとする気運を醸成する。</p> <p>また、市町村や森林所有者の森林整備の推進により、林業経営体の事業量や林業従事者の確保を図る。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規林業就業者数（+30人） ②新規就業者の定着率（+21%） ③新しい林業に取り組む経営体数（+50者） ④デジタル化によるスギ生育適地数（+80地区）

事業概要【社会課題・ヘルステック産業創出事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	88,893千円 (21,854千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・全国的に関心が高い社会課題をテーマに設定して商品開発や技術開発を支援するとともに、多様なステークホルダーが参加し、情報交換や意見交換を行える取組を通じて、県内ものづくり企業の新分野への参入を支援する。</p> <p>・本事業を通じて、新分野への進出や新たな付加価値の創出等に積極的にチャレンジする成長力の高い企業を育成し、芯の強い県内産業を構築する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <p>○社会課題に立ち向かう商品開発協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新産業創出に資する商品・技術開発(補助金)6,000千円 ※県内企業や大学等が連携して3年間で行う商品・技術開発を一貫支援 ・新商品開発等における伴走支援(委託料)6,233千円 <p>○社会課題型商品開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題商品開発(補助金)7,500千円 ※県内企業が自社技術を活用して1年間で行う商品開発支援 <p>○ものづくりイノベーション人材創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなイノベーションを創出する交流や人材育成に資する経費(委託料)1,985千円 					<p>＜商品開発協働事業の支援イメージ＞</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内企業と大学や公設試験研究機関との連携による新たな商品・技術の開発を支援するとともに、専門機関による伴走支援を行う。</p> <p>県内企業に加え、スタートアップや商工団体、金融機関が参加する報告会等を開催し、事業アイデアの提案や販路開拓の支援、本事業の周知等に取り組む。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①補助事業実施企業における新規雇用者数(+14人)</p> <p>②補助事業実施企業における新商品・新規事業の件数(+14件)</p> <p>③社会課題・ヘルステック産業創出プラットフォーム(仮)への新規参加者の増加数(+160人)</p>

事業概要【伝統工芸産地の魅力・デジタル発信力向上事業】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,973千円 (3,365千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・産地の魅力やデジタル発信力の向上に取り組むことにより、新たな価値の創造や本県の伝統的工芸品等の魅力を幅広い層や地域に訴求させ、技術・技能の次世代への継承や産業の振興を促進する。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>○県内学生と工芸品をつなぐ！映像制作インターンシップ事業 →工芸品に興味のある県内学生等を対象に、映像制作講師による撮影講座、実地での工房体験、訪問撮影、編集講座を実施し、工芸品の魅力をインスタントに伝えるショート動画を作り上げる。</p> <p>○産地等のデジタル人材育成！情報発信力強化セミナー事業 →伝統的工芸品の職人等を対象に、デジタル活用・情報発信力強化に資する講座を実施する。</p> <p>○あきたの工芸品の魅力発信！プラットフォーム構築事業 →現行のHP「手しごと秋田」について、時代に合わせた機能強化改修に向けた検討を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○県内学生と工芸品をつなぐ！映像制作インターンシップ事業 ・映像制作インターン実施（委託費） 1,774千円</p> <p>○産地等のデジタル人材育成！情報発信力強化セミナー事業 ・基礎～実践講座開催（委託費） 1,591千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>伝統的工芸品産地に、映像制作インターンの受け入れや情報発信力強化セミナーへの参加など本事業にプレイヤーとして参画してもらい、関係機関や事業者との情報交換等を通じて、情報発信力を相互に高め合っていく。</p> <p>大学と連携して、知見や設備をもって、事業者の技術的な指導・助言や人材育成等を行う。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①国指定伝統的工芸品の生産額（+572百万円）</p> <p>②あきたの伝統的工芸品サイトの年間アクセス数（+16,500件）</p> <p>③県内工芸品関係事業者のSNS運用率（+33.2%）</p> <p>④職人等を対象とした講座の平均参加者数（+20人）</p> <p>⑤映像制作インターンシップによる制作映像数（+50本）</p>

事業概要【輸送機産業好循環サイクル促進事業】

申請者	秋田県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	82,785千円 (31,595千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的(効果)	<p>・県内輸送機関連企業に対するソフト、ハード双方の各種支援を行い、新規参入や取引拡大、雇用の確保を強力に後押しすることによって、出荷額増加の上積みを図る。</p>					
事業概要・主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>○人材の確保・育成支援事業 →県内企業の人材の確保・育成に係る課題の解決にあたり、高い問題解決能力とQCD (Quality, Cost, Delivery) に係る知識を有する企業の中核を担う人材を育成するため、有識者等を講師として品質管理、原価管理、問題解決の手法等のテーマを定めて連続講義を実施する。</p> <p>○研究開発支援事業 →新規参入や競争力強化につなげるため、新技術・新工法、試作品の製作などの県内企業等の研究開発を支援する。</p> <p>○営業力の向上支援事業 →県内企業の県外完成自動車メーカー及びTier1企業、航空機産業の国内大手3大メーカーとの取引を促進するため、ビジネスマッチングコーディネーターを配置し、商談等を支援する。</p> <p>○パワーアップ設備導入支援事業 →県外完成自動車メーカー及びTier1企業、航空機産業の国内大手3大メーカーとの新規取引、取引拡大を要件として、生産性の向上につながる設備の導入を支援する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○人材の確保・育成支援事業 ・企業の中核人材の育成(講師謝金、旅費等) 1,095千円</p> <p>○研究開発支援事業 ・研究開発支援(補助金) 7,500千円</p> <p>○営業力の向上支援事業 ・ビジネスマッチングコーディネーターの配置(補助金) 8,000千円</p> <p>○パワーアップ設備導入支援事業 ・新規取引拡大に伴う設備導入支援(補助金) 15,000千円</p>				<p>【新規参入等への県内企業の課題とその解決領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足、採用困難→人材の確保・育成 ・設備投資予算の不足→生産性の向上 ・技術開発を進める人と資金の不足→研究開発 ・自社技術の強み・弱みの分析が不十分→営業力の向上 <p>新規取引拡大⇒売上UP</p>	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な主体の参画	<p>行政や産業支援機関は県内輸送機関連企業への訪問やヒアリングを通じて補助金等事業の周知、利用を促進するとともに、県内輸送機関連企業は事業を活用して県外完成自動車メーカー及びTier1企業、航空機産業の国内大手3大メーカーとの新規取引、取引拡大に取り組む。</p> <p>事業の推進にあたっては、大学と連携して研究開発等を実施したり、金融機関による融資や経営のアドバイスを受けたりしながら進めていく。</p>				KPI	<p>①県内輸送機産業の新規雇用者数(大卒、高卒) (+9人)</p> <p>②県内輸送機関連企業の従業員1人当たりの生産額の増加率 (+9%)</p> <p>③県内輸送機関連企業の製造品出荷額(+210.87億円)</p> <p>④8道県商談会における本県の出展企業数(+3社)</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【新県立体育館を活用した地域のにぎわい創出プロジェクト】

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	13,039,245千円 (1,267,574千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値の高い観客席エリアやデジタル技術を活用し、トップスポーツやコンサート等の集客力の高い興行を開催するほか、スポーツツーリズムの推進や観光プロモーションの実施により、新たな観光需要の創出を図る。 スポーツ施設機能を高める施設整備と県民に親しまれている丘や緑地の整備を一体的に行うことにより、利用者の利便性向上のほか、回遊性の向上による地域の賑わい創出や交流人口の拡大を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 老朽化した県立体育館を、「みる」アリーナ、「する」体育館、「ささえる」医科学の3つの機能を有する東北最高水準の施設に建て替える。関係事業者等と連携したスポーツと観光の相乗効果をもたらす取組を実施することにより、県内各地の観光地への回遊性を高め、観光消費を促進するとともに、スポーツツーリズムを通じた関係人口や交流人口の拡大を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○付加価値の高い観客席エリアや演出設備の整備 ・施設整備費(設計費等) 211,344千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 ○新県立体育館の整備 ・施設整備費 1,056,230千円</p>					   	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者や商工団体・地元商業者、秋田市等との定期的な協議や意見交換を通じて、課題分析や将来ビジョンの共有を行い、地域の賑わい創出に連携して取り組む。 Bリーグの秋田ノーザンハピネッツがホームアリーナとして施設を利用し、スポーツを通じた関係人口の増加につなげるとともに、秋田県スポーツ協会との連携により、県内のアスリートの育成・強化や競技力向上の観点からの意見を事業内容に反映させる。 					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①秋田県の観光消費額 (+56,000百万円) ②新県立体育館の年間利用者(来場者)数 (+262千人) ③新県立体育館の年間興行・イベント開催数 (+54回) ④来場者アンケートで「宿泊を伴う観光をする」と回答した方の割合 (+14.7%) ⑤秋田県産品プラザの観光入込客数 (+6,900人)

事業概要【秋田市シティプロモーション推進事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県秋田市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,791千円（19,540千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の閉塞感を取り払い、地方からクリエイティブで夢のある挑戦ができるまちへ ・若者の人の流れを生み、活気あり持続可能なまちの将来像を目指す ・ポジティブ意識とシビックプライドの醸成を図る ・住民にも、関係人口にとってもクリエイティブで魅力あるまちを目指す 			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 未来創造人材育成・プロモーション事業 本市と市内企業、市民で構成される実行委員会の経費 実行委員会の他地域との連携に係る出張経費365千円 市内小学生の地域映像制作ワークショップ 625千円 県外高校生・市内外大学生の秋田留学ワークショップ 1,628千円 生成 A I やアニメを活用した大学生の映画制作支援 550千円 秋田市出身著名映画監督による高校生CM塾 3,355千円 ■ 海外映画祭での本市学生およびクリエイター育成・プロモーションに係る経費 ハリウッドクリエイターによる本市学生向け映画制作ワークショップ 3,300千円 ハリウッドで行われる映画祭での本市映画プロジェクトの海外プロモーション (実行委員の出張経費) 2,250千円 ■ 秋田市公式Instagram写真展 写真展運営等 3,732千円 高校生、企業との連携企画 運用費用 1,045千円 ■ ターゲティング動画広告による本市のSNSプロモーション 2,690千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①世帯主が20代30代の移住者数(地域へのUIターン数) (+103人) ②10～30代の市民調査における「秋田市が好き」(+5%) ③ブランド総合研究所「地域ブランド調査」魅力度ランキング(+23位) ④本市に移住した世帯数のうち世帯主が20代30代の割合(+2.69%) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1021674/1039762.html</p>	

事業概要【AIオンデマンド交通実証運行事業】

申請者	秋田県能代市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,211千円 (37,211千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 能代市では中心市街地において定時定路線型の巡回バスを運行しているが、一方向への巡回であるため、逆回りに関する要望やバス停までの移動距離の短縮を求める声が住民から寄せられており、中心市街地における市民の移動に係る利便性向上、賑わい創出を目的とし、AIオンデマンド交通の実証運行を行う。 また、地域内の移動需要を補完するのみならず、観光客、移住者の移動手段としても活用が見込まれ、関係人口の創出にも寄与するほか、運行の効率化・省人化により、公共交通の担い手が不足する現状がある中でも、持続可能な公共交通として機能する。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 能代市の中心市街地エリアにおいて、時刻表や運行経路を定めずに需要に応じて運行するAIオンデマンド交通の実証運行を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 印刷製本費、システム使用料、AIオンデマンド交通の運行に係る委託料を経費として計上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費（パンフレット作成費用） 979千円 ・通信運搬費（タブレット及びスマートフォン通信料） 164千円 ・委託料（運行業務に係る経費） 27,139千円 ・委託料（予約受付業務に係る経費） 6,169千円 ・使用料及び賃借料（SMSによる運行情報の発信に係る経費） 120千円 ・使用料及び賃借料（AIシステムの運用に係る経費） 2,640千円 <p>計37,211千円</p>				 <p>運行車両(EV)</p>  <p>乗り方説明会</p>  <p>乗降場所の様子</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>運行は能代市から委託を受けた市内のタクシー事業者3者が行い、運行上のトラブルや課題については、能代市と運行事業者とで情報共有を図りながら改善し、サービスの向上を図る。また、地元自治会や利用者の意見・要望を踏まえ、住民のニーズに即した運行を行う。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①運行エリア内における世帯数（+9,790世帯） ②市内を運行する公共交通に対する満足度（+2.70ポイント） ③AIオンデマンド交通の年間利用者数（+14,324人） <p>※半年度の実証運行であることから、「KPI増加分の累計」の目標値については省略</p>

事業概要【外国人材受入・共生推進事業】

申請者	秋田県能代市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,909千円 (8,303千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 能代市は全国及び秋田県内と比較しても有効求人倍率が高い地域であり、少子化により新卒（高卒）就職者も年々減少傾向にある。人材不足対策として全国的に外国人材受入が進んでいるが、本市ではその受入状況は全国最下位レベルとなっている。 こうした状況を打開すべく、R6年度に市内企業数社が中心となって経済産業省の「地域の人事部」制度を活用し、地域一丸となって外国人材受入推進を目指す取組を開始し、本市もその動きをバックアップしている。 このような民間主導による外国人材受入推進の動きに連携し、市としてもその動きを加速させるための取組を実施するとともに、外国人材が地域に受け入れられるよう、必要な支援等を行うことにより、地元企業と一体的に外国人材受入の推進、共生社会を作り上げることによって、海外から能代が「選ばれる街」になることを目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○外国人材獲得推進支援事業費補助金 5,000千円 市内企業の外国人材雇用を推進するため、外国人材雇用時に係る初期経費の一部を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象：外国人材を受入する地元企業 ・補助金額：受入した外国人材1人当たりにつき200千円（1社につき5名分1,000千円を上限 ※年度ごとの上限ではなく累計） <p>○外国人材へ日本語学習アプリ無償利用支援 3,303千円 市がオンライン日本語学習アプリの契約を行い、市内在住の外国人もしくは本市で就労することが決まっている外国人材に、無償利用してもらうことで、日本語学習支援を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：市内の在留外国人及び市内企業に内定が決まった外国人材（入国前） ・期間：原則1年毎の更新とする。（学習時間が極端に少ない者は、1年に満たずともアカウント停止）一人あたり最大3年まで 				 <p>能代からはじまる、私のキャリア 能代CBプロジェクト</p> <p>NCB NOSHIRO Career Base</p> <p>◆R6「地域の人事部」で開設したWEBサイト ノシロキャリアベース：https://ncb.city.noshiro.lg.jp/</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本補助事業だけではなく、R6年度に採択された「地域の人事部」、当該事業によって設立された一般社団法人COCORO、市内の外国人材受入企業と連携し、様々な啓発・啓蒙のほか、海外の送り出し団体や日本語学校とのパイプづくりを行う。</p> <p>外国人材と地域住民の相互理解を目的としたコミュニケーションイベント等を、上記連携団体・企業と協同で開催する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①能代市へUIターンした世帯数(+232世帯) ②就労目的の在留資格による外国人材の人数(+150人) ③日本語学習アプリ利用者数(+300人) ④日本語能力試験N3以上取得者数(+130人)

事業概要【奥秋田サステナブルツーリズムプロジェクト

～地域の強みをサステナブルな取り組みに進化させ、稼ぐ観光へ～】

旧制度（推進）

申請者	秋田県大館市ほか3自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	283,961千円 (38,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムを核としたサステナブル・ destinations の確立 ・持続可能性に重きを置き、地域資源を活用した、観光で外貨を稼ぐ仕組みづくり ・観光消費額の増加を目指した、観光コンテンツやサービス・商品の再編集、付加価値の向上 ・人口減少及び少子高齢化により維持が困難となっている地域コミュニティや歴史・文化を持続可能なものに 		
事業概要・ 主な経費	<p>○協議会運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会事務局経費 4,000千円 ・全体戦略立案・実施運営・運営支援 4,800千円 <p>○観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者アンケート・満足度調査 1,100千円 ・地域における自然環境に配慮した取り組みの拡大支援 1,500千円 ・修学旅行・農泊にかかる持続可能な実施基盤の確立 1,650千円 ・地元教育機関等を活用した受入態勢の構築 1,650千円 <p>○エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在顧客や市場環境分析のためのマーケティング調査 2,200千円 ・サステナビリティを主眼とした来訪者獲得のためのPR戦略 14,000千円 ・エコツーリズムの推進とエコツア開発 2,200千円 ・近隣DMOと連携した発着地設計とWebサイトの運用 2,200千円 ・地域の持続可能性に寄与する新たな産品・サービス等の開発及び販売 3,080千円 	<p>滞在型日本語学校 AKITA INAKA SCHOOL</p>   	<p>上：伊勢堂岱遺縄文遺跡でのマタギと秋田犬のおもてなし</p> <p>左：海外メディアやインフルエンサーを活用したプロモーションの展開</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域への経済波及効果 (+4,339百万円) ②教育市場（修学旅行等）収入 (+3,128千円) ③農家民宿関連（農泊等）収入 (+1,559千円) ④来訪者の地域のサステナブルな取り組みに対する評価（5段階評価） (+3.48ポイント) 	関連URL	<p>(交付金の取り組み)</p> <p>https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p11022</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p10712</p>

※大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の広域連携事業

事業概要【スポーツコミッション大館によるスポーツツーリズムの推進と交流を生むまちづくり】

旧制度（推進）

申請者	秋田県大館市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	155,642千円（24,658千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの推進により新たな観光客の増加を図る。 ・スポーツツーリズムによる観光消費額増加のため大会併催イベントにより参加者の宿泊日数増加を図る。 ・スポーツを行うソフト環境を整え、スポーツ実施率向上とスポーツを通じた交流の促進を図る。 ・スポーツ情報の発信により合宿やイベントの誘致、ふるさと納税等でのスポーツへの支援者増加を図る。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車を活用したスポーツツーリズム推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクルイベント開催とサイクリングガイド養成（委託料等）4,302千円 ・ MTBによるアクティビティ商品開発（賃借料等）254千円 ○ ハーフマラソン大会併催イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント会場設営（委託料）3,104千円 ○ スポーツ実施率向上のための環境づくりとスポーツ交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ教室の実施（委託料・使用料）8,895千円 ・ ポッチャ交流大会開催（委託料等）2,614千円 ○ AIカメラと動画共有サイトによる情報発信と合宿・大会の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設AIカメラの運用経費（使用料）2,811千円 ・ 動画共有サイト発信のコンテンツ制作（委託料）825千円 ・ スポーツ展示会出展による誘致活動（使用料等）1,853千円 	 <p>サイクリングイベント</p>  <p>マラソン大会 併催イベント（クリニック）</p>  <p>スポーツ教室（体験イベント）</p>  <p>大館スポーツAIライブ AIカメラ本体 ニプロハチ公ドームアーカイブ</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①スポーツツーリズムによる誘客（+2,500人） ②スポーツ合宿及びスポーツ大会等による宿泊数（+1,628泊） ③友好都市との交流事業関係人口の拡大（+170人） ④スポーツ実施率（+13%） 	関連URL	<p>（交付金の取り組み） https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kika-kuchosei/p11022</p> <p>（効果検証） https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kika-kuchosei/p10712</p>

事業概要【IT人材育成事業】

申請者	秋田県湯沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,395千円 (5,465千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・IT関連企業の就職希望者、市内出身学生及び市内在住高校生を対象に、IT人材を育成するためのリスキリング事業により、IT人材の確保を図る。また、IT人材の増加によってIT関連企業の市内進出につなげることで人口減少の抑制及び雇用環境の改善に寄与する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 IT関連分野について市内で仕事や学習ができる環境が整っていないという課題を解決するため、IT関連企業へ業務委託し、IT関連企業の就職希望者、市内出身学生及び市内在住高校生を対象に、既存の市内IT関連企業及び新たに市へ進出するIT関連企業が求めるようなIT人材を育成するためのリスキリング事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○IT人材育成事業 ・スキルアップセミナー（委託料）5,465千円 業務概要：Salesforce基礎講座、アソシエイト試験対策講座 参加人数：10名 募集方法：市HP、市広報、ハローワーク・市内高校への周知 スケジュール：R7年6月委託契約⇒7月参加者募集⇒8月研修開始⇒11月資格試験</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市内高等学校およびハローワークには受講希望者を斡旋してもらうほか、受講修了者からの意見を挙げてもらい、事業へのフィードバックに取り組む。</p> <p>IT関連企業には事業への委託先として協力を得るほか、リスキリング事業を受講した地元人材の採用について連携を図る。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①市内IT関連企業への就職者数（+15人） ②IT企業の誘致数（+3社） ③IT関連企業における事業に対する満足度（+60%） ④セミナー参加者数（+30人）</p>

事業概要【まちづくり人材育成プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	秋田県鹿角市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	57,694千円 (22,171千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの未来を支える人材を育成する ・活気のある魅力的なまちづくりを目指し、地域を担うコア人材を創出する ・マンパワー不足を解消するため、まちづくりに挑戦する新たな関係人口の獲得を進める ・地域課題の解決に向け、多様な大学と連携を図りながら、大学研究を誘致する 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○地元企業での職場体験や地域との交流活動による農作業や祭り・伝統文化に触れる体験、地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種体験活動費用（謝礼、事務費等）3,939千円 <p>○まちづくり人材育成のための講座、塾、フィールドワークの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策講義・フィールドワーク開催経費（事務費）55千円 ・かづの未来アカデミー開催経費（謝礼、事務費等）330千円 ・鹿角の未来創造わげもの塾開催経費（謝礼、事務費等）320千円 <p>○外部人材による地域課題解決のための講座、ツアー、交流会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かづコトアカデミー開催経費（委託料）12,499千円 ・地域課題解決を図るツアー実施費用（委託料等）2,286千円 ・関係人口の交流（拠点・オンライン環境）支援費用（委託料等）1,663千円 <p>○大学連携による課題解決のための共同研究及び実証活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり人材育成の共同研究費用（謝礼）40千円 ・まちづくり実践・実証活動費用（補助金、事務費）1,039千円 		 <p>かづコトアカデミーの様子</p>
KPI	<p>①地域へのUIターン数（+174人）</p> <p>②市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思える市民の割合（+16.56%）</p> <p>③市民の力で新たに生み出されたまちづくり事業数（累計）（+15件）</p> <p>④まちづくり実践活動（＝地域課題解決）に携わる関係人口数（+105人）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的用途・実施体制、効果検証）</p> <p>https://www.city.kazuno.akita.jp/shisei_machizukuri/shiikikasseika/6/5907.html</p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

事業概要【女性・若者に選ばれる就業環境創出プロジェクト】

申請者	秋田県鹿角市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	82,429千円 (16,469千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 女性・若者にとって魅力ある就業環境を創出する 地元企業の労働環境整備により新規雇用者数の増加を図る 企業誘致を推進し、女性・若者の就業選択肢を拡大する 多様な働き方を促進し、意欲ある就労・就農者を確保する 						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元企業の労働環境整備支援 ・女性・若者魅力ある企業づくり支援事業委託料：8,942千円 ○就業ニーズの高い企業の誘致活動 ・企業調査・情報収集経費（事務費）：370千円 ・誘致活動経費（事務費）：101千円 ○多様な働き方の促進 ・テレワーク普及開発セミナー等開催経費（委託料、事務費）：4,082千円 ・農業サポーター育成講習会開催経費（補助金、事務費）：330千円 ・移住希望者に対する仕事体験プログラムの提供（委託料、事務費）：1,590千円 【施設整備事業経費】 ○企業の受入施設の拡充（実施設計）：1,054千円 				 		
<p>地域の多様な主体の参画</p>	<p>工業振興会に魅力開発アドバイザーを配置し、若年者雇用に向けた魅力向上戦略の策定と取組の実施を支援するほか、大学との連携により、女性・若者に選ばれる就業環境を創出し、成果を市内に波及させる。また、就業ニーズに応じた業種の企業誘致と受入環境整備を進め、女性・若者の就業選択肢を拡大する。</p> <p>県や町、職業安定所と若年者雇用安定会議等を組織するほか、企業説明会等による地元企業の認知度向上と地元就職意欲の醸成を図る。</p> <p>NPO法人やJAと連携し、仕事体験移住プログラムや農業参画など多様な働き方を促進することで、意欲ある就労・就農者を確保する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①従業員一人当たり労働生産性（+204千円） ②支援企業における新規雇用者数（+20人） ③誘致企業数（+2社） ④多様な働き方を実践した人数（+300人） 	

事業概要【首都圏循環産業創生事業】

申請者	秋田県にかほ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	48,264千円 (13,088千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決に意欲的な首都圏の人材や新興企業を発掘し、地域に呼び込むことにより、地域の既存企業の体制強化や新産業の創出、創業支援等の充実を実現し、若年層の地域への定着と人口減少の抑制を図る。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を抱える地元企業と、その課題解決をサポートできるスキル・リソースを持つ首都圏企業をマッチングすることで、双方に有益となる機会を提供するハンズオン支援プログラムを実施する。 市職員や地元の事業者が登壇するトークイベントや、市長に対して事業提案ができるピッチイベント等を首都圏で開催し、首都圏の事業者を本市へ呼び込む土壌づくりに取り組む。また、地域住民が気軽にビジネスにチャレンジできるイベントを開催し、新しいチャレンジの掘り起しと小規模事業の成功事例を増やすことで地域経済の活性化を目指す。 本事業を可視化するため、本市をフィールドとした新規事業や地域プレイヤーの情報等をWebサイトで発信する。 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンズオンプログラムの企画・実施 4,630千円 地域内外の事業者に向けた企画の開発・実施 7,438千円 地域における魅力発信 1,020千円 						
地域の多様な主体の参画	<p>「インキュベーション施設わくばにかほ」の運営を担う株式会社ジェイアール東日本企画及び株式会社 Rond が中心となり、首都圏の新興企業との連携や各種プログラムの企画・運営を行う。</p> <p>新規事業の開発や業務改善にあたっては、秋田銀行、北都銀行及び上浜地区地域復興協議会の支援を受けながらサポートを行う。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①雇用創出数 (+6人) ②実証事業数 (+6件) ③事業化された事業・商品開発等の事業数 (+12件) ④企業連携のマッチング件数 (+18件) ⑤各種プログラムで伴走した事業数 (+24件)

事業概要【インターナショナルスクール誘致事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県仙北市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	52,823千円（12,112千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・国家戦略特区の優位性や湖・スキー場等の豊富な観光資源を活かして、インターナショナルスクールを市内に誘致することで、高度外国人材等の子女の定住人口や高度外国人材来訪による交流人口を増やす。 ・教育産業やインターナショナルスクールに子女を入学させる高度外国人材等に係る新産業等を育成することで、地元の有望な若年層に雇用の場、創業機会等の提供を目指す。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○インターナショナルスクールの誘致を目指し、運営法人や事業パートナー等に向けたアプローチや、それを踏まえた事業スキーム作り等の誘致活動を企画運営し、ノウハウ定着化の取り組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致促進活動（委託料）7,853千円 <p>○市内既存施設や未使用施設の利活用を提案できる市内既存物件等の日本語と英語でのリスト化、日本語に不慣れなインターナショナルスクール関係者の交通手段確保等のスクール受け入れに向けた環境の整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けMaaS導入企画（委託料）3,509千円 		 <p>内閣府 国家戦略特区 National Strategic Special Zones</p> <p>仙北市 SEMBOKU CITY</p>
※経費内訳はR7年度事業費	  <p>インターナショナルスクール運営法人向けの市内視察の様子</p>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①ハローワーク角館就職数（+440件） ②運営法人等の市内視察（+3件） ③遊休施設のリスト化件数（+12件） ④MaaSの利用者数（+30人） 		<p>関連URL</p> <p>交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab/?k=semboku-city-iot</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【高度外国人材等受入促進事業】

旧制度（推進）

申請者	秋田県仙北市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	28,512千円 (9,867千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・仙北市ではサテライトオフィス誘致により市内に進出したIT企業等の成長や安定経営のため、国家戦略特区である優位性を活かして海外の優秀なITエンジニアの雇用等を支援する。 ・市内に高度外国人材等が集まり、彼らに活躍と成長の機会を提供し、地域経済が活性化することで、地元の有望な若年層に新たな雇用の場、創業機会等の提供を目指す。 		
事業概要・ 主な経費	<p>○湖・スキー場等の豊かな観光資源や東京とのアクセスの良さ等を活かして、高度外国人材等の市内招聘を促進するため、国内の外国人ITエンジニアや留学生等の高度外国人材等に向けた招聘PR活動や、市内事業者等とのマッチング等を企画・実施するとともに、それらのノウハウをマニュアル化する。（委託料）3,650千円</p> <p>○国家戦略特区の優位性を活かし、外国人材受入企業等の各種相談や情報提供、外国人を含めた起業・開業の相談・対応支援を総合的に行うグローバル雇用・創業ワンストップセンターの運営とともに、そのノウハウをマニュアル化する。（委託料）5,717千円</p>		
※経費内訳はR7年度事業費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>内閣府 国家戦略特区 National Strategic Special Zones</p>  <p>仙北市 SEMBOKU CITY</p>  <p>グローバル雇用・創業 ワンストップセンター</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>合同企業マッチング会の様子</p>  </div> </div>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①地域へのUIJ ターン数 (+45人) ②高度外国人材等視察数 (+24人) ③市内事業者への紹介数 (+45件) ④ワンストップセンター利用数 (+45件) 		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>関連URL</p> <p>交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab/?k=semboku-city-iot</p>		

事業概要【人と地域を創生する観光誘客事業】

申請者	秋田県仙北市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	32,517千円 (11,449千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地方訪問意向が高まっている訪日外国人を呼び込み仙北市の総生産の増加を図るため市民参加型のインバウンド事業を展開する。 ・今まで市民が当たり前だと思っていた地域資源の魅力を認識し活用する事で、高付加価値化を実現する。 ・市民が参画している観光交流事業を、市民主導の経済効果の上がる観光宣伝事業に発展させる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○おもてなし向上事業（委託）900千円 地域の高付加価値化に向けた問題点改善とスキルアップ向上事業を行う</p> <p>○羽田空港産直館等PR事業（委託）440千円 日本のハブ空港でPR事業を行う事で旅行者にダイレクトに訪問意欲のわく情報を発信する</p> <p>○海外誘客事業8,657千円 ・海外誘客コーディネート事業 3,826千円 ・仙北市長トップセールス（旅費）4,831千円 市長トップセールスに合わせ多様な市民が誘客活動を行う</p> <p>○TANBUN・リトリート推進事業（委託）1,452千円 タイ向けの仙北市独自の旅行商品の造成</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>市内観光事業者と連携して、おもてなし向上のための人的サービス向上に取り組み、観光コンテンツの高付加価値化に取り組む。</p> <p>地域おこし協力隊と連携して、外国人観光客の誘客を進めるとともに多くの世代を交えた国際交流を実現する。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①宿泊者数（+126.96千人）</p> <p>②リピーター率（+3%）</p> <p>③観光客数（+702.08千人）</p> <p>④観光客満足度（+3.30%）</p> <p>⑤観光消費額（+96.7億円）</p> <p>⑥観光産業等に係わる市民の参加率（+2%）</p>

事業概要【魅力ある地域コミュニティハブ創生事業】

申請者	秋田県仙北市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	39,158千円 (39,158千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり
目的・効果	<p>少子高齢化・人口減少による地域コミュニティの弱体化と遊休施設の有効活用の課題を解決するため、令和7年3月で閉校となる白岩小学校を地域住民が集えるコミュニティセンターとして再生するための改修を行い、魅力ある地域コミュニティハブを創生する。施設内に放課後児童クラブを設け、地域の子育て支援機能を補完し、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを支える。整備された施設は、多世代が集い、交流し、情報を共有しながら地域課題を解決する場として活用し、これまで希薄化していた地域コミュニティの活性化を図る。本事業を通じて、住民が主体的に地域課題に取り組むための基盤を構築し、地域全体のつながりや協力を促進することで持続可能な地域活性化を実現する拠点として、地域住民と共に運営・発展させる。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>小学校施設からコミュニティセンターへの用途変更に伴い、防火区画の設置等建築基準法や関係法令を遵守するために改修が必要となる。施設の適法性と安全性を確保し、利用者が安心して利用できる環境を整備する。(用途変更に伴う防火区画の設置、排煙設備や非常照明の整備、シックハウス対策、バリアフリー化等)</p> <p>○施設整備等(設備整備・用地造成を除く)の内容</p> <p>【建築物本体工事】 建築工事費 15,904千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事 6,868千円、 機械設備工事 11,306千円</p> <p>【設計及び監理業務費】 設計及び監理業務費 5,080千円</p> <p>【合計】 39,158千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域住民組織と連携してコミュニティセンターの運営には地域住民に積極的に関わってもらう。</p> <p>また、市内で宿泊施設等を運営し、地域物産販売等の地域商社の機能も持つ企業がノウハウを活かして地域活動等への助言を行うとともに、地域コミュニティのイベント等に参加し、活動を支援する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域の人口の維持(▲154)</p> <p>②施設利用者数 (+5000人)</p> <p>③地域コミュニティの活動件数 (+12件)</p>

事業概要【大潟村村民体育館拠点整備事業】

申請者	秋田県大潟村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,189,276千円 (51,224千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の拠点となる施設を整備し、季節に左右されない新たな競技のスポーツ合宿の受入体制を構築することで、スポーツを軸とした交流人口の拡大を目指す。 ・総合型地域スポーツクラブの機能強化を図ることで、部活動の地域展開を図ったうえで、スポーツを核とした産業を生み出し、これに関連した雇用並びに移住により地方への人流れを目指す。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 スポーツ振興の中核的な機能に加え、村民の多様化するニーズ並びにスポーツ競技レベルの向上につながる設備を備えた総合体育館を整備する。 ○新たに空調設備、トレーニングルーム、会議室、研修室等を整備</p> <p>R7 ・実施設計業務委託 51,224千円</p> <p>R8 ・設計監理業務委託 ・建築物本体工事 ・敷地内外構工事 ・備品購入（トレーニング機器・ローイングマシーン等）</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>スポーツ振興の拠点となる施設を活用し、村と各種団体が協同により、部活動の地域展開にかかる持続可能な体制の構築を目指す。</p> <p>また、村の特色を生かした水上スポーツを中心としたスポーツ振興を継続的に推し進め、相互連携による指導者の育成並びにスポーツによる地域の活性化を目指す。</p>				<p>KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ① U I J ターン数 (+17人) ② 交流人口の拡大 (+13,000人) ③ スポーツ合宿件数 (+7件) ④ 部活動地域参加者数 (+24人)

事業概要【美郷町子ども子育て支援拠点施設整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	秋田県美郷町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	950,053千円（784,514千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	子どもが安全で安心して1年を通して天候に左右されず遊べる場、親子のふれあいの場や子育て相談の場として「美郷町子ども子育て支援拠点施設」を整備することにより、子どもの遊び場や子育て世代が安心して楽しく子育てができる環境の充実を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【整備内容・利活用方策】 乳幼児から小学生までを対象とした遊戯エリア、子育て相談室、子育て情報コーナーやデジタル遊具などを設置し、子どもの遊び場や子育て世代が安心して楽しく子育てができる環境の充実を図る。</p> <p>【建築物本体工事】 建築工事費 485,371千円、工事監理費 19,161千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 94,851千円、機械設備工事費 83,312千円</p> <p>【効果促進事業（ハード事業）】 遊具工事費 50,665千円、外構工事費 11,985千円、 デジタル遊具 3,617千円、Wi-Fi設備 297千円、 入退館管理システム 28,226千円（対象外経費）</p> <p>【効果促進事業（ソフト事業）】 遊具購入費 21,945千円、備品購入費 13,310千円</p>	 	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（+33世帯）</p> <p>②本施設利用者数（+45人）</p> <p>③本施設利用に満足と答えた人の割合（+100%）</p> <p>④子育て支援アプリの登録者数（+330人）</p>	関連URL	https://www.town.misato.akita.jp/ko-domokatei/5039